

第48回

小金井薪能

能 菊慈童 遊舞之衆

津村禮次郎

狂言 宗論

山本泰太郎

創作舞劇 良寛

原作和久内明

小尻健太

梅川壱ノ介

津村禮次郎

小金井薪能



小金井 宮地楽器ホール 大ホール 14:00 開演 13:30 開場

【チケット】 全席指定 (小学生以上) S 席 7,000 円 A 席 5,000 円

2026 年 7 月 1 日発売 ● 小金井宮地楽器ホールチケットカウンター 小金井市本町 6-14-45

● 電子チケットぴあ <https://t.pia.jp> Pコード 542-908

2026 年

9/23

(水・祝)

【お問合せ】 小金井薪能事務局 042-384-8753 (10:00~16:00 土曜・日曜・祝日除く)

主催：小金井薪能 後援：小金井市

小金井市教育委員会 (公財)歴史文化財団 江戸東京たてもの園 小金井市まちおこし協会 小金井市商工会 東京小金井ライオンズクラブ
東京小金井ロータリークラブ 東京小金井さくらロータリークラブ 国際ソロプチミスト東京小金井 小金井青年会議所 (株)ジェイコム東京

チケットぴあ

小金井薪能 HP



能 菊慈童 遊舞之楽

中国の古代の国・周の王に仕えていた童が、王の枕をまたいだ罪で山奥深く捨てられた。少年は帝から頂いた枕に書きつけられた観音經の一文に菊の花の露が掛かり、不老不死の薬水となり、それを服して700年を経た今も少年の姿なのだ。薬水を求めて来た時の帝の使者に薬水の壺を与え不老不死の舞を舞う。「遊舞之楽」の演出で咲き乱れる菊花に舞い戯れる少年の姿をより一層美しく生き生きと見せてくれる。

菊慈童 津村禮次郎
勅使 野口能弘
従者 野口琢弘
笛 槻宅聡 大鼓 安福光雄
小鼓 飯富孔明 太鼓 徳田宗久
地謡 中所宜夫 他

狂言 宗論

身延山から帰る法華の僧と、善光寺から帰る浄土の僧が道中道連れになり互いに自分の宗旨が優れており改宗せよと言い争いになる。同じ宿に泊まり論争が始まる。その争いは翌朝までも続き踊り念仏、踊り題目へ張り合いになってくるが、さて争いの決着は如何になるのか。普遍的な人間の我執と偏見を風刺した名作である。

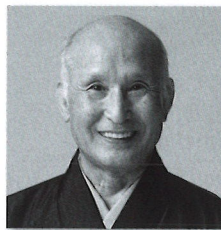
浄土僧 山本泰太郎
法華僧 山本則孝
宿屋 山本則重

創作舞劇 良寛

江戸時代末(1758年～1831年)の曹洞宗の僧侶。歌人、漢詩人、書家であり「大愚」と号した。新潟県出雲崎の生家は名主・橘屋であったが、18才で出家し備中玉島(倉敷市)の圓通寺で修業する。34才の時に諸国を遍歴し越後の国上寺(新潟県燕市)に五合庵を構える。文人として名を馳せる一方、子供と毬をついて遊ぶ良寛の心底は民の生活、信濃川の氾濫などを思っ苦悩に満ちていた。最期まで良寛の弟子である貞心尼のほか、良寛の心を汲む鈴木文臺の私塾・長善館からは近代的な知識人を輩出し現代に繋がる。

原作 和久内明 演出・振付 小尻健太
監修・台本 津村禮次郎 音楽・作曲 渋谷牧人
舞人 小尻健太 梅川壱ノ介 津村禮次郎
後見 中村明日香
琵琶 塩高和之 箏 奥田雅樂之一
尺八 善養寺恵介 能管・篠笛 大野利可

舞台美術 倉田康治 ※会場内での写真撮影、ビデオ撮影、録音は著作権法上、固くお断り申し上げます。
照明 富山貴之 ※携帯電話の電源は必ずお切りください。
音響 市村隼人
舞台監督 川上大二郎



津村禮次郎 つむら れいじろう

能楽師シテ方観世流。緑泉会会主。津村紀三子、観世喜之に師事。重要無形文化財保持。79年より小金井薪能を企画制作、本年で第48回。古典能公演の他、アレッシオ・シルベストリン、森山開次等との創作活動や海外公演多数。



野口能弘 のぐち やすひろ

下掛け宝生流ワキ方。野口敦弘の長男。東京芸術大学音楽部卒業、能楽協会会員。故・宝生閑及び父・敦弘に師事。4歳で初舞台。オランダ、オーストラリア、ドイツ、ポーランドなど海外公演に参加。重要無形文化財総合指定。



山本泰太郎 やまもと やすたろう

1971年生。山本則直の長男。77年「靉猿」の子猿で初舞台。90年「三番三」披露。96年「釣狐」披露。2005年「花子」披露。10年芸術祭優秀賞受賞。11年日本伝統文化振興財団賞受賞。父および山本東次郎に師事。



小尻健太 こじり けんた

NDT1で世界最高峰の舞台を経験し、欧州と日本を拠点に活動。西洋舞踊と日本の感覚を融合した繊細かつ革新的な身体表現で注目を集める。大阪・関西万博「住友館」の振付演出、舞台『千と千尋の神隠し』のカオナシ役など多分野で活躍。



梅川壱ノ介 うめかわ いちのすけ

大分県日田市出身、新潟大学卒。東京バレエ団、歌舞伎俳優を経て舞踊家へ転身。人間国宝・坂東玉三郎に師事し、日本舞踊を軸に国内外で活動。バレエ、歌舞伎、日本舞踊という異なる舞台芸術、伝統と革新を融合した表現で高い評価を受ける。

塩高和之 しおたか かずゆき [琵琶]

国内外で薩摩琵琶・樂琵琶による演奏活動及びアルバムのリリースをしている。琵琶楽人倶楽部代表。

善養寺恵介 ぜんようじ けいすけ [尺八]

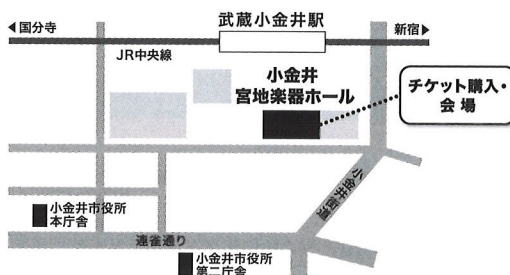
古典尺八演奏家。東京藝術大学邦楽科卒業。重要無形文化財「尺八」保持者(人間国宝)。

奥田雅樂之一 おくだ うたのいち [箏]

正派創始者中島雅樂之都の曾孫で四代目伝承者。副家元として国内外で作曲や演奏を展開し活躍する。

大野利可 おおの りか [笛]

篠笛・能管奏者。古典の探求と創作曲で国際交流を重ねる。国立音大卒、演奏・指導で活躍。



お問合せ

小金井薪能事務局

TEL 042-384-8753

(10時～16時 土日祝日を除く)

HP: <https://koganeitakiginou.jp>

